

令和7年度 事後評価シート

【事務事業シート】

当初

事 項	いじめ防止対策体制整備事業費										予算主管課	人権教育課
事 業 概 要	いじめ防止対策の推進や重大事態等に対応するため、幅広い分野の外部専門家を活用し、解決に向けて諮問・審議・調査・支援等を行う体制を整備する。										始期	2014
											終期	
K P I	県立学校でのいじめの重大事態発生件数											
	KPI種別	下がると良い指標	R 5 年 度		R 6 年 度		R 7 年 度		R 8 年 度			
	R 4 年 度		目標値	0 件	目標値	0 件	目標値	0 件	目標値	0 件		
	実績値	件	実績値	0 件	実績値	0 件	実績値	2 件	実績値	件		
	ストック /フロー	フロー	達成率	100 %	達成率	100 %	達成率	0 %	達成率	%		
	コ ス ト		最終現計 予算額	1216 千円	最終現計 予算額	1191 千円	最終現計 予算額	1189 千円	最終現計 予算額	千円		
			決算額	244 千円	決算額	344 千円	決算額	1171 千円	決算額	千円		
			繰越額	千円	繰越額	千円						
				不用額	18 千円	不用額	千円					
7 年 度	要因分析	要因 令和6年に文部科学省から発出された「いじめの重大事態の調査に関するガイドライン」等を踏まえた対応について全県立学校へ周知を図っていたが、2つの事案とも被害生徒が転学に至ったことから目標達成に至らなかった。										
		総括										
	見直し方向性	維持	7年度の重大事態発生に至る過程を検証し、いじめの重大事態を防ぐための体制の在り方等について県教委及び各学校で共通理解を図ることにより、目標達成に至ることができると考えられることから、8年度の執行方法や9年度予算の見直しは想定していない。									

※令和6年度までの予算・決算額は流用額及び前年度からの繰越額を含みません。

当初	事 項	いじめ等相談体制構築事業費							予算主管課		人権教育課				
	事 業 概 要	いじめ問題等への対応に万全を期すため、いじめ根絶に向けた24時間体制での電話相談や、若年層に普及しているSNSを活用した相談活動を実施する。							始期		2007				
									終期						
	K P I	電話・SNSで相談に応えた件数													
		KPI種別	上がると良い指標		R 5 年 度		R 6 年 度		R 7 年 度		R 8 年 度				
		R 4 年 度		目標値	700 件		目標値	700 件		目標値	700 件				
		実績値	件		実績値	851 件		実績値	614 件		実績値	597 件			
		実績値	件		実績値	851 件		実績値	614 件		実績値	件			
		ストック /フロー	フロー		達成率	121.57 %		達成率	87.7 %		達成率	85.3 %			
	コ ス ト			最終現計 予算額	12937 千円		最終現計 予算額	14046 千円		最終現計 予算額	13011 千円		最終現計 予算額	千円	
				決算額	12811 千円		決算額	11871 千円		決算額	11894 千円		決算額	千円	
										繰越額	千円		繰越額	千円	
						不用額	1117 千円		不用額	千円					
7 年 度	要因分析	要因 電話やSNS、Web等、多様な相談窓口を設置し、その周知に努めてきたものの、若年層のSNS利用の多様化や他の相談窓口の増加等により目標達成に至らなかった可能性がある。													
		総括													
	見直し方向性	維持	7年度のKPIの実績は、若年層のSNS利用の多様化や相談機関の増加等により、目標値を下回っているが、7年度から追加した1人1台端末等での利用についてさらなる周知を図ることで、KPIは目標達成すると考えられることから、現在の枠組みを維持する。												

※令和6年度までの予算・決算額は流用額及び前年度からの繰越額を含みません。

3 当初

事 項	いじめSTOPつながる力育成事業費							予算主管課	人権教育課		
事 業 概 要	子どもたちの人間関係構築力育成に向けたプログラムの運用と県内の小中学校をオンラインで接続したライブ授業の実施を通じて、子どもの心の育ちと教職員の学級づくりを支援することで、子どもたちをいじめの被害者にも加害者にもしない取組みの推進や不登校支援につなぐ。							始期	2024		
								終期	2026		
K P I	プログラム活用とライブ授業を通して、人によりよい関係を築こうとする意欲が高まっている児童生徒の割合										
	KPI種別	上がると良い指標	R 5 年 度		R 6 年 度		R 7 年 度		R 8 年 度		
	R 4 年 度		目標値	70 %	目標値	80 %	目標値	90 %	目標値	100 %	
	実績値	%	実績値	%	実績値	94.8 %	実績値	93.5 %	実績値	%	
	ストック /フロー	フロー	達成率	%	達成率	118.5 %	達成率	103.9 %	達成率	%	
	コ ス ト		最終現計 予算額	千円	最終現計 予算額	25096 千円	最終現計 予算額	8716 千円	最終現計 予算額	千円	
			決算額	千円	決算額	24602 千円	決算額	8384 千円	決算額	千円	
				繰越額	千円	繰越額	千円				
								不用額	332 千円	不用額	千円
7 年 度	要因分析	要因									
		総括									
	見直し方向性	維持	7年度のKPIの実績は目標値を超える成果が出ており、7年度から運用されているジブンミカタプログラムとの更なる連動を踏まえると、8年度もKPI目標値の達成が可能と考えられることから、8年度の執行方法や9年度の予算の見直しは想定していない。								

※令和6年度までの予算・決算額は流用額及び前年度からの繰越額を含みません。